事例No.	599
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	福岡県飯塚市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・教育・子育て ・地域運営組織

事例種類	公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメント

事例内容・タイトル

小中一貫校建設事業（住民参加・学校再編・公共施設最適化事業債・公共施設等適正管理推進事業債）

出典

公共施設最適化事業債を活用した先進事例

福岡県飯塚市（人口13万人）

小中一貫校建設事業（幸袋中学校区小中一貫校）

事業の概要

学校施設の老朽化が進行するとともに、人口（児童・生徒）が減少することを踏まえ、2つの小学校及び1つの中学校を施設一体型の小中一貫校として集約する。（小学校に併設されている児童館も同時に移転し、統合。）

事業のポイント

小中一貫校の施設整備に当たり、保護者や地域住民に対して、アンケートや意見交換を行った。

○学校再編整備等に関するアンケート

市全体における学校の再編整備計画を策定するに当たり、保護者や地域住民に対して、アンケートを実施した。

アンケートの内容
- 小規模な学級編成（1学年1学級など）が存在していることに対する考え方
- 小中一貫教育の効果
- 老朽化による建替えの是非
- 小学校及び中学校の通学方法及び通学距離

↓

アンケートを踏まえ、「**飯塚市立小学校・中学校再編整備計画**」を策定した。
計画では、12の中学校区それぞれについて再編の方針が定められ、幸袋中学校区においては、幸袋小学校、目尾小学校及び幸袋中学校を施設一体型の**小中一貫校**として**統合**することとされた。

※併設されている児童館も同時に移転し、統合

○建設適地の比較検討

「飯塚市立小学校・中学校再編整備計画」に基づき新たな学校を建設するため、保護者や地域住民を中心に建設適地を検討した。

市が提示した3つの候補地について、保護者全員を対象に実施した候補地選定に関するアンケートを参考に、周辺環境や通学路の安全性等、**10項目（49細項目）の評点**を行った。

↓

保護者及び**地域住民**により構成される「**小中一貫校建設基本構想検討会**」において、上記の評点等を参考に、それぞれの候補地について意見交換したうえで、**投票による選定**を行った。

↓

自治会長、**PTA**及び**有識者**で構成される「**建設適地検討協議会**」にて**①安全性**、**②周辺環境**、**③通学距離**の観点から再度選定を行い、教育委員会に建議した。

事業の効果

○ 建設する小中一貫校の整備方針及び建設適地について、保護者や地域住民が主体となって検討したことで、今後導入される小中一貫教育を地域全体で支えることが期待される。